

大阪のスタートアップ企業が ルワンダでSDGsビジネスに挑戦

(太陽光発電と電動バイクでEモビリティ普及をめざす)



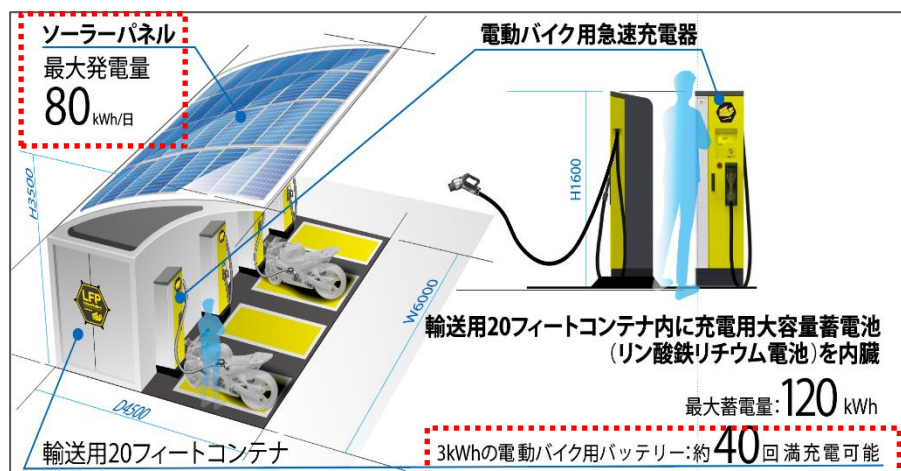
国際協力機構(JICA)は、株式会社ロケットバッテリー(大阪府大阪市、国本貴志代表取締役社長)が提案する「ルワンダ国における太陽光発電を活用した電動バイク用公共充電ステーション事業 基礎調査」を2021年第1回公示「中小企業・SDGsビジネス支援事業」で採択しました。

アフリカのルワンダでは、ガソリンバイクによる大気汚染と化石燃料利用によるCO2排出量の増加が課題となっています。この環境問題を改善するため、ルワンダ政府はE-Mobility(交通の電動化)を推進しており、電動バイクの普及及び電動バイク向け充電ステーションの整備に力を入れています。



ルワンダ都市部の渋滞の様子

2018年創業のスタートアップ企業であるロケットバッテリー社は、その課題解決を図るため、同社の技術力と現地での人脈を活かし、太陽光発電を利用した大容量蓄電池による電動バイク向け急速充電ステーションのビジネスを現地で展開することをめざしています。今回の調査では、ビジネス展開に向けて現地の規制・許認可、電動バイクの市場などを調査する予定です。



イメージ図: 太陽光発電を利用した大容量蓄電池による電動バイク向け充電ステーション

中小企業・SDGsビジネス支援事業は、企業が有する優れた技術や製品、アイデアを用いて、途上国が抱える課題の解決と、日本企業の海外展開、ひいては日本経済の活性化も兼ねて実現することを目指すものです。全国の企業に広く活用して頂くことで、各地の地域経済活性化にも役立つことが期待されます。

今回の2021年度第1回採択分では、全国で32件、関西地域では5件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

株式会社ロケットバッテリーへのインタビューも可能ですので是非取材をご検討ください。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 企業連携課 宮田

TEL 078-261-0397 e-mail: Miyata.Tomoko3@jica.go.jp

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

